

世界史

(解答番号 ~)

※世界史は「経済経営学部」「人文学部」のみ選択可

第1問 朝鮮半島の歴史に関する次の文章A～Cを読んで、下記の設問（問1～11）に答えなさい。

A. 朝鮮半島の北部から現在の中国の東北地方に当たる地域に（ a ）が成立したのは、4世紀のことであった。（ a ）の広開土王（好太王）の石碑は、有名である。隋の第2代皇帝煬帝は3度に亘って（ a ）に遠征したが、失敗した。

3世紀に朝鮮半島南部は、辰韓、馬韓、弁韓に分かれていたが、4世紀にはその各々で新羅、百濟、（ b ）が成立した。新羅が562年に（ b ）を滅ぼすと、朝鮮半島では高句麗、新羅、百濟が鼎立するようになった。さらに新羅と結んだ唐が660年に百濟を滅ぼすと、倭王（『日本書紀』で皇極天皇＝齊明天皇と呼ばれている人物）は百濟復興のために九州に移り作戦を指揮しようとしたが、661年に亡くなった。皇太子の中大兄皇子（後の天智天皇）が作戦を引き継いだ。倭の艦隊は663年に（ c ）で唐と新羅の連合軍に大敗した。

唐は666年に（ a ）に侵攻し、668年に（ a ）を滅ぼして平壤に（ d ）を置いた。しかし朝鮮半島の南半分を統一した新羅と戦って敗れた唐は朝鮮半島から後退し、平壤に置いていた（ d ）を遼陽に移した。朝鮮半島を統一した新羅では（ e ）と呼ばれる身分制度が敷かれ、都の慶州では仏教文化が栄えた。

問1 文中の空欄（ a ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

1

- ① 東突厥 ② 高句麗 ③ 契丹 ④ 渤海

問2 文中の空欄（ b ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

2

- ① 加羅（加耶） ② 越南 ③ 大理 ④ 吐蕃

問3 文中の空欄（ c ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

3

- ① 厓山の戦い ② 垓下の戦い ③ 赤壁の戦い ④ 白村江の戦い

問4 文中の空欄（ d ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① 真番郡 ② 楽浪郡 ③ 安東都護府 ④ 安北大都護府

問5 文中の空欄（ e ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 骨品制 ② 里甲制 ③ 長老制 ④ 府兵制

B. 高麗は10世紀に王建によって開城を都として成立した。高麗や次の李朝では（ a ）と呼ばれた支配階層がいた。（ a ）は、文臣と武臣から成る官僚であったが、次第に世襲されるようになり、身分階層になった。高麗では高麗（ b ）のような美術工芸品が作られた。

問6 文中の空欄（ a ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

6

- ① 士大夫 ② 両班 ③ 形勢戸 ④ 万元戸

問7 文中の空欄（ b ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

7

- ① 漆胡瓶 ② 白瑠璃碗 ③ 文錦 ④ 青磁

C. 李成桂は高麗を倒して李朝を建てた。李朝は、明と冊封関係を結んで明の文化や制度を受容し、(a) を官学とした。しかし、李自成が明を滅ぼし、さらに清が中国本土を支配するようになると、李朝は清に対して冊封関係に入る一方で、清を低く見た。華夷思想から見ると、清を建てた満州人は漢人より劣っているとされたからである。明の滅亡後に李朝では自らを中国文明の継承者と考える思想が生じ、自らを(b) と称するようになった。

豊臣秀吉が李朝に攻め込んで壬辰・丁酉倭乱(文禄・慶長の役)が起きると、(c) が亀甲船を率いて戦った。豊臣秀吉が亡くなると壬辰・丁酉倭乱は終結し、その後に対馬藩の仲介で李朝は徳川幕府に対して朝鮮(d) を派遣するようになった。海外の学問や文化の動向を知ろうとした日本の儒学者は、朝鮮(d) を相手に儒学の議論や詩文の交流を行った。江戸に向かう朝鮮(d) に雨森芳洲が同行したこともあった。

問 8 文中の空欄(a)に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

8

- ① 朱子学 ② 考証学 ③ 公羊学 ④ 訓詁学

問 9 文中の空欄(b)に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① 大韓 ② 小韓 ③ 大中華 ④ 小中華

問 10 文中の空欄(c)に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

10

- ① 李世民 ② 李大釗 ③ 李参平 ④ 李舜臣

問 11 文中の空欄（ d ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

11

- ① 隊商 ② 船団 ③ 通信使 ④ 使節団

第 2 問 ユーラシア大陸中央部に関する次の文章 A、B を読んで、下記の設問（問 12 ～ 22）に答えなさい。

A. 前 7 世紀ないし前 6 世紀頃から南ロシアの草原地帯を支配していた（ a ）は、特有の動物文様をもつ馬具を使用していたことで知られる。古代ギリシアのヘロドトスは、『歴史』（『ヒストリアイ』）の第 4 巻で（ a ）に関する詳細な記録を残している。後にフランスの思想家ヴォルテールは、啓蒙専制君主として知られた（ b ）が啓蒙思想家に援助を申し出たことを指して、「（ a ）が哲学に好意を示している」と述べた。（ b ）がロシアの女帝だったので、ヴォルテールは（ b ）をかつてロシアの草原地帯にいた（ a ）になぞらえたのである。

紀元前 4 世紀頃から活発に活動するようになった匈奴は、単于と呼ばれる統率者（君主）の下で強力な遊牧国家をつくった。特に前 3 世紀末に即位した（ c ）単于は月氏を攻撃して中央アジアのオアシス地帯を勢力下におさめる一方で、漢とも戦った。

紀元後 4 世紀には匈奴や鮮卑など五胡と称される非漢民族が中国に入り、華北に諸国家を打ち立てた。（ d ）は鮮卑が建てた国である。（ア）6 世紀には突厥が中央アジアに遊牧国家を建てた。

問 12 文中の空欄（ a ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

12

- ① アムル人 ② アッカド人
③ スキタイ人（スキュタイ人） ④ エトルリア人

問 13 文中の空欄（ b ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

13

① メアリ 1 世

② エカチェリーナ 2 世

③ イサベル

④ マリア＝テレジア

問 14 文中の空欄（ c ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

14

① 冒頓

② 車犁

③ 乎韓邪

④ 伊利目

問 15 文中の空欄（ d ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

15

① 東晋

② 北魏

③ 燕

④ 趙

問 16 文中の下線部(ア)に関連して、突厥について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

16

a その後、突厥は東西に分裂した。

b 突厥は文字をもたなかった。

① a — 正、 b — 正

② a — 正、 b — 誤

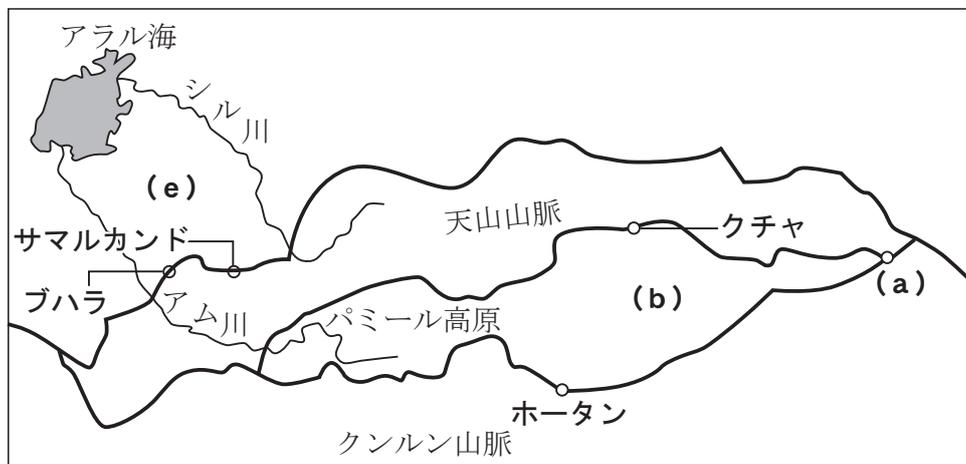
③ a — 誤、 b — 正

④ a — 誤、 b — 誤

B. 下記の地図で（ a ）はオアシスの道の分岐点に当たり、近隣には莫高窟がある。（ b ）は、北は天山山脈、西はパミール高原、南は崑崙山脈（クンルン山脈）に取り囲まれた地域で、漢代にはこれ以西の地域は西域と呼ばれた。漢の武帝は（ c ）と同盟を結んで匈奴を挟撃するために張騫を西域に派遣した。（ c ）と同盟は成立しなかったが、張騫は西域に関する情報を中国に初めて直接もたらした。

インドへ求法の旅に出た東晋の僧（ d ）は、（ b ）を横切った際のことを、「沙河中多く悪鬼・熱風有り、遇えば則ち皆な死して一の全き者無し。上に飛鳥無く下に走獸無し。遍に望み目を極め、度る処を求めんと欲するも則ち擬る所を知らず、唯だ死人の枯骨を以て幟幟〔目印〕と為す耳。行くこと十七日、計ること千五百里なるべくして鄯善国〔引用者注；楼蘭を指す〕に至るを得」と描写している。（ d ）が著した『仏国記』は、ユーラシア大陸中央部の事情を知る上で貴重な手がかりを与えてくれる。

下記の地図で（ e ）には商才に長けていたとされるイラン系民族がおり、（ア） ブハラやサマルカンドなどの都市があった。（ e ）は、後にトルキスタンと呼ばれるようになった地方の西部に当たる。



問 17 文中の空欄（ a ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

17

- ① 洛陽 ② 敦煌 ③ 長春 ④ 武昌

とってこれらの諸国にプロイセンの役割を割り当てようとする者は誰もいないでしょう。プロイセンはすでに幾度か好機を逃してしまいましたが、次の好機に向けて自らの力を結集し、それを維持していかねばなりません。ウィーンの諸条約によって定められたプロイセンの国境は、健全な国家の営みにとって好ましいものではありません。現下の大問題が決められるのは、演説や多数決によってではなく——これこそが 1848 年と 1849 年の大きな誤りでした——（ c ）によってなのであります。」

（出所）飯田洋介『ビスマルク——ドイツ帝国を築いた政治外交術』中公新書、2015 年、96 頁。

この演説に議会の多数派は激しく反発したが、ビスマルクはそれを無視して軍備拡張を強行した。

ビスマルク率いるプロイセンは、1864 年、オーストリアとともにデンマークとたたかってシュレスヴィヒ・ホルシュタインをうばうと、その共同管理をめぐる対立からオーストリアと開戦した。これにわずか 7 週間で勝利すると、ドイツ連邦を解体し、北ドイツ連邦を結成して、その盟主の地位についた。

さらに、プロイセンの強国化を警戒するフランスとの間に、スペイン王位継承問題をきっかけとして (ア) プロイセン＝フランス戦争が 1870 年におきた。ビスマルクの挑発に乗ったナポレオン 3 世が宣戦布告したことにより始まった戦争であったが、ドイツ南部諸国の支持をとりつけたプロイセンがフランスを圧倒し、フランス北部のスタンでナポレオン 3 世を捕えたのち、さらにすすんでパリを包囲した。翌 1871 年には、占領したヴェルサイユ宮殿において、（ a ）のドイツ皇帝即位式がおこなわれ、ドイツ帝国（第二帝国）が成立した。

問 27 文中の空欄（ a ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

27

- | | |
|---------------|----------------------|
| ① アレクサンドル 1 世 | ② フリードリヒ 2 世 |
| ③ ヴィルヘルム 1 世 | ④ ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世 |

問 28 文中の空欄（ b ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

28

- ① ユンカー ② ヨーマン ③ ジェントリ ④ グーツヘルシャフト

問 29 文中の空欄（ c ）に入る最も適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

29

- ① 鉄と血 ② 剣と盾 ③ 大砲と軍馬 ④ 戦車と飛行機

問 30 文中の下線部(ア)に関連して、フランス敗戦時の状況の説明として不適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。

30

- ① パリでは臨時国防政府が樹立され、総選挙の後、ティエールを首班とする臨時政府がドイツと仮講和条約を結んだ。
- ② 講和条約により、ドイツに莫大な賠償金を支払うとともに、アルザス・ロレーヌを失った。
- ③ 講和条約が屈辱的であるとして憤激したパリの民衆らが、パリ＝コミューンを樹立した。
- ④ ティエールの巧みな交渉によりパリ＝コミューンと臨時政府は和解し、第三共和政への移行が加速した。

C. ドイツ帝国は、22の君主国と3自由都市からなる連邦国家であったが、プロイセンの地位が非常に高く、プロイセン王が皇帝位を世襲した。帝国宰相もプロイセン首相が兼ねたため、初代帝国宰相にはビスマルクが就任し、皇帝の強い信頼のもと、約20年間にわたって独裁的とも言える権力をふるい、内政、外交において卓越した手腕を発揮した。

内政において、(ア) 国民意識の育成による国家統合を目指すビスマルクは、政教分離政策に反対する南ドイツのカトリック勢力を攻撃し、公的領域から排除して、その政治的・社会的影響力

の排除をはかった。また、1879年には保護関税法を制定して、イギリスなどの先発工業国に対抗した。工業化とともに増加した労働者階級の間で伸張し、ビスマルクの強権政治を批判する(イ)社会主義勢力に対しては社会主義者鎮圧法を制定して弾圧する一方で、社会保険を導入し、労働者からの支持獲得を目指した。

外交政策においては、ドイツへの復讐をもくろむ(ウ)フランスの国際的孤立化をはかって、「ビスマルク体制」と呼ばれる同盟網を構築した。

問 31 文中の下線部(ア)に関連して、ビスマルクによるこのようなカトリック勢力の弾圧政策は何と呼ばれたか。最も適切なものを下記の①～④の中から一つ選びなさい。 **31**

- ① 宗教闘争 ② 文化闘争 ③ 政治闘争 ④ 意識闘争

問 32 文中の下線部(イ)に関連して、19世紀末から20世紀初頭にかけてのヨーロッパ諸国における社会主義運動に関する説明として不適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。 **32**

- ① ドイツでは、ビスマルクの辞任後に社会主義者鎮圧法は撤廃され、1912年には社会民主党が帝国議会の第一党に躍り出た。
- ② イギリスでは、フェビアン協会や労働組合を母体として1906年に結成された労働党が台頭した。
- ③ フランスでは、1890年代に、労働組合のゼネストによって一挙に社会革命をめざすサンディカリズムがあらわれたが、それに反対する諸派は1905年にフランス社会党に結集して対抗した。
- ④ 国際的な労働運動組織として1919年にパリで結成されたコミンテルン（第3インターナショナル）では、ドイツ社会民主党が主導的地位に立ち、フランス社会党、イギリス労働党も協力した。

問 33 文中の下線部(ウ)に関連して、ビスマルク体制下でのドイツとロシアの関係に関する説明として不適切なものを、下記の①～④の中から一つ選びなさい。 **33**

- ① 1873年、ドイツ・オーストリア・ロシアは三帝同盟を結んだ。
- ② 1878年のベルリン会議において、ドイツはサン＝ステファノ条約に反発するオーストリアと対立し、ロシアの南下政策を支持した。
- ③ 1887年、両国間に秘密軍事条約である再保障条約（二重保障条約）が結ばれた。
- ④ 1890年、ビスマルクの失脚とともにドイツはロシアとの再保障条約を破棄した。

以上で問題は終わりです。